

事業内訳

農林業センター運営事業費	3,416万円
農道整備などの農地費	1,658万円
農業農村整備事業（県営中山間地域総合整備事業・2地区 負担金他）	2,266万円
地籍調査事業	2,403万円
森林整備地域活動支援事業費（森林情報収集、境界確定、歩道整備）	1,398万円
林業関係事業費補助（フォークリフト購入、駅改修、間伐搬出奨励他）	1,209万円
森林エネルギー導入促進事業	50万円
景観林保全林整備事業	949万円
林道整備事業費	7,745万円
商工費	2億5,028万円
小規模事業指導及び商工会活動・建物改修費補助金	1,552万円
短期経営改善資金、商工業施設整備資金、小口資金の利子補給	212万円
プレミアム付きお買いもの券発行事業費補助	1,048万円
売れるものづくり事業費補助	100万円
観光振興	9,295万円
音戯の郷運営費	4,064万円
茶茗館管理運営費	1,682万円
ウッドハウスおろくぼ運営費（指定管理）	696万円
もりのくに運営費（指定管理）	1,014万円
温泉事業特別会計繰出金	2,382万円
土木費	1億8,878万円
町道維持修繕経費	4,407万円
町道新設改良事業費	3,127万円
橋りょう点検業務	390万円
河川維持経費	2,049万円
急傾斜崩壊対策事業	2,155万円
町営住宅、若者定住住宅管理運営経費	836万円
若者定住促進住宅周辺整備	473万円
消防費	3億1,467万円
常備消防費	1億9,990万円
非常備消防活動	6,802万円
消防施設整備（耐震性貯水槽他）	2,526万円
災害対策費（家庭内家具固定委託金、木質耐震シェルター補助他）	2,149万円
教育費	5億1,373万円
外国語指導講師招へい事業	541万円
通学バス運営経費	2,695万円
小学校の管理・教育振興	1億274万円
中学校の管理・教育振興	5,753万円
社会教育事業	7,020万円
生涯学習推進	811万円
文化会館運営	3,796万円
資料館運営	905万円
海洋センター運営	2,641万円
社会体育施設の維持管理経費	1,177万円
学校給食共同調理場の管理運営経費	9,107万円
災害復旧費	1,696万円
公債費	8億5,510万円
町債の元利償還金	
予備費	1,500万円
合計	51億8,500万円

主な予算

議会費	6,322万円
川根本町議会経費	6,322万円
総務費	9億2,866万円
行財政改革推進	119万円
財産の維持管理	453万円
庁舎（本庁と総合支所）維持管理経費	2,914万円
交通安全対策事業	391万円
自治会振興	2,390万円
山村開発センター管理経費	708万円
市場調査・研究事業	1,000万円
癒しの里づくり事業費補助金	700万円
まちづくりリーダー人材育成事業費補助金	100万円
コミュニティ施設管理整備事業	1,257万円
環境対策推進（クリーンエネルギー活用など）	1,008万円
地域情報網の整備（ブロードバンド整備検討事業など）	9,856万円
町営路線バスの運行経費	3,079万円
参議院議員・県議会議員選挙費	1,020万円
国勢調査等統計経費	529万円
民生費	10億8,693万円
地域福祉推進業務委託料	3,081万円
重度障がい者（児）医療費扶助	1,880万円
在宅高齢者配食サービス事業	1,134万円
外出支援サービス事業	1,220万円
生きがい対応型デイサービスセンター運営委託経費	2,737万円
町内保育園の運営など	1億7,966万円
子育て支援対策費（放課後児童クラブ・支援センター）	2,200万円
子ども手当の支給（児童手当分を含む）	1億668万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	5,565万円
老人保健特別会計繰出金	142万円
後期高齢者医療事業特別会計繰出金	2,364万円
介護保険事業特別会計繰出金	1億6,062万円
衛生費	5億9,886万円
妊婦健康診査	18万円
こども医療費扶助	1,210万円
特定不妊治療費助成	60万円
季節性・新型インフルエンザ予防接種助成	1,904万円
各種ワクチン接種費助成（肺炎球菌、子宮頸がん、ヒブ）	1,101万円
がん検診事業	941万円
診療施設整備事業（医療機器更新）	2,237万円
合併処理浄化槽設置費補助金	1,526万円
飲料水供給施設運営事業	952万円
ごみ処理経費	8,522万円
し尿処理（川根広域施設組合負担金）	1億1,503万円
簡易水道事業特別会計繰出金	1億2,303万円
いやしの里診療所事業特別会計繰出金	6,540万円
労働費	194万円
農林水産業費	3億5,087万円
特産物振興事業費補助	501万円
耕作放棄地対策事業費	248万円
茶業振興対策事業	1,797万円

7つの特別会計について

特定の事業を実施するために、一般会計とは別に経理する特別会計。本町には7つの特別会計があります。その詳細を見ていきます。

被保険者の皆さんに適正な医療が提供できるよう努めます。

を良好に管理運営し、安定給水に努めます。

【国民健康保険事業特別会計】

平成22年度は、前年度対比4.9割の減額となりました。特定健診・特定保健指導、人間ドック助成などを含めた保健事業の充実により、医療費適正化に努めます。

【老人保健特別会計】

平成20年度から後期高齢者医療が始まり、平成20年3月診療分までの老人保健特別会計の月遅れ・過誤清算分の医療費を見込み、前年度対比80.1割の減額となりました。

【後期高齢者医療事業特別会計】

平成20年度からスタートし3年目を迎えた後期高齢者医療事業。平成22年度は対前年度比3.8割の減額となりました。静岡県後期高齢者医療広域連合を運営主体として、各市町では窓口業務のほか被保険者の皆さんから保険料を徴収する業務を担っています。

●特別会計の内訳

会計/区分	平成22年度 (千円)	伸び率(%)	
		前年度(当初)対比	
国民健康保険事業特別会計	1,000,000	△4.9	
老人保健特別会計	1,430	△80.1	
後期高齢者医療事業特別会計	110,100	△3.8	
介護保険事業特別会計	1,008,900	6.5	
簡易水道事業特別会計	314,500	28.7	
温泉事業特別会計	28,600	21.2	
いやしの里診療所事業特別会計	40,600	1.2	
計	2,504,130	3.1	

【簡易水道事業特別会計】

平成21年度から料金体系を統一し、川根本町簡易水道会計としてスタートしています。引き続き、簡易水道

利用者が求める充実した医療を提供できるよう努めます。

【いやしの里診療所事業特別会計】

開所4年目を迎える町営診療所「いやしの里診療所」の運営予算です。

厳しい
経済情勢

の中、景気回復のため、一連の景気対策を講じることによる地域活性化や元気の再生が望まれています。

わたしたちの町を元気で魅力があり、誰もが夢を持ち、安心して暮らせる地域にいくためには、豊かな自然や地域資源を活かした施策を展開し、富士山静岡空港・大井川・南アルプスの広域的な連携による、交流拡大を図ることが必要です。

行政改革大綱・集中改革プラン最終年度 充実した医療・福祉環境の整備に重点を

また住民の声を聞き、共感の得られる行政運営を目指し、企業や団体が主体となった協働による、住民主役のまちづくりを推進することが、子どもから高齢者まで安心して暮らせる仕組みを構築することにつながります。

平成22年度は、行政改革大綱・集中改革プランの最終年度であり、引き続き効率の良い行政改革に努め、住民の暮らしや生命を大切にするための健康・医療・福祉環境の整備に重点を置いて予算を編成しました。

このほか、情報の公開や共有を図る地域情報網の確立、国際的交流の推進などを図り、住みやすく魅力あるまちづくりを目指します。



川根本町長
佐藤公敏